

二町内の自治会新聞

二町内公民館の増築工事

公民館の生い立ち

熊本市の区画整理事業の一環として本町公園が造成されました。

その後公園の一廓に「老人憩いの家」が建設された。当時は、旧住民主体の町内でしたから人口も現在の十分の一以下であったと思います。当時としては老人憩いの家は、十分な広さでした。

区画整理によりライフラインが整備され、住環境が一段と良くなったことで個人住宅、マンションの建設ラッシュがあり人口も十倍二十倍と増加して行きました。

住民の要望により公民館が開設され、公民館行事を初め各種団体の集いの場となり利用回数は、増えてきた。会議場は、畳二十一枚の広さで三十人収容がやっとの状態です。公民館の拡張希望の

声が聞かれるようになり、自治会へも要望が強くなってきました。

公民館増築期成会の結成

各種団体の代表者会を開き、公民館増築の話し合いを行いました。各種団体

自治会、老壮会、公民館子ども会、地区生徒会、たけみやふれあいサロン、体協、ボランティア委員会、IT委員会等各種団体の推薦により、期成会の組織が決定されました。

期成会長 自治会長が兼任 村上 徹郎

副会長 老壮会長兼任 村上 裕人と自治会副会長兼任 上野 博明

会計 上野 博明 書記 村上 孝

○当面の期成会の業務 増築の許可申請を市役所の関係部署へ提出し、許可を得ること。交渉中

事務局 村上徹郎 TEL 368-5384 住所 健軍本町 26-3

公民館の増築について

現在の会議場畳二十一枚の半分十・五枚分を増築する。

床は、現在の畳をフロアリングにする。壁面には整理棚等を設ける。柱は、耐震性も考え鉄筋を使用する。

見積もりは、四百五十万円相当

建設工事の資金について

① 寄付

② 町内会費 月三百円に二百円の上乗せする(暫定二年か三年)

③ リサイクル活動の益金

資金集めとしては、三通りの選択枝が考えられます。

期成会では、①と②を避け(町民の金銭的負担を避ける)、二町内全町民がリサイクル活動に参加して、その益金を増築の資金に使用ということでした。しかし、現在老壮会が行っているリサイクル活動では、二か月に一

回、年間六回実施で平均三十五万円の利益を得ています。

年間百万円の収入で四百万円は、四年掛かりです。そのような訳で住民の皆様が全面的に協力頂かなければ公民館の増築は実現しないと思えます。

リサイクル活動の方法

老壮会は、二か月に一回偶数月の第四週土曜日(リサイクルの日)としています。

来年からは、毎月一回のリサイクル日を取る予定です。

ボランティア委員会で、毎週日曜日午前八時〜九時までを収集の時間と考えています。

現在熊本市では、月曜日と水曜日が資源ゴミの日になっています。従って二町内では、資源ゴミを日曜日に出して頂くこととなります。(四月からマンションの場合は、マンションのゴミ置き場個人住宅の場合は、出し方について、ただ今検討中です。決定次第第回覧でお知らせします。

ボランティア委員会から

毎週日曜日の資源の回収は、輪番制で行う予定です。

個人の負担を軽減するために、多く人数が必要で、どうぞ多くの方々の協力をお願いします。

自主防災避難訓練

十月二十三日 災害時要援護者を中心とした避難訓練を実施しました。

健軍消防署、市役所高齢福祉課、東部保健センターの協力の下、地元企業からは、三津野建設、

すがコポレーション、日本乾溜さんが助っ人として参加して下さいました。

いちぐちクリニックからは、ドクターとして院長先生が参加して下さいました。

非常食は、子ども会のお母さん達に二百食分を造って頂きました。若干余りが出ましたので参加人数は、約二百名と言うことになりました。

今回は、防災のリックを背負った方が十数名居られ、防災意識の向上が

感じられました。しかし全体の五%に過ぎません家の家具等の倒壊に備えての固定等日頃から防災に備える意識が必要だと感じました。

二町内歩け歩け大会

ボランティア委員会主催で十一月三日(文化の日)実施されました。

参加人数四十名で八丁馬場を通り、県立図書館上江津湖公園を通り、広木公園に至る約十二キロのコースで天気にも恵まれ心地よい汗をかきました。

スタッフの皆さんが救急車代わり車を出したり、道路横断の交通整理等至れり尽くせりの御世話頂きました。

中には五歳の男の子、女の子も元氣よく完歩していました。全員に完歩の賞状を手渡しました。

歩け歩け大会のドクターとして、日赤の奥本先生が参加して下さいました。スタッフの皆さんは、万全に近い配慮がなされたと感じたいします。